

## 音楽Ⅰ シラバス

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2	対象	1年
科目の分類	必履修 芸術 (選択 音楽)		履修順序	音楽Ⅰを履修後、音楽Ⅱを履修			
科目の目標	1. 多様な表現活動を通して、演奏技術の伸長や表現意欲の向上を図る。 2. 身近にある音楽やその他の幅広い音楽に親しみ、鑑賞能力を養う。						
教科書 主な教材	・「MOUSA」(教育芸術社) ・「高校生のための新・楽典ワーク」(トビ楽譜出版社)、他						
学習内容 (概要)	・表現(歌唱、器楽、創作) および鑑賞 (中学校音楽の復習をはじめ、主体的に学習する課題(教材曲) 選択も含む)						
学習の ポイント	毎時間 : 既習曲の斉唱・合唱・鑑賞 題材ごと : 実技練習、ワークシート学習、実技テスト						
到達目標	・基礎的視奏力を身につけ、表現活動(歌唱・器楽)に活かすことができるようにする。 ・個人が得意とする表現活動(歌唱・器楽)の力を伸ばし、舞台等で発表できるようにする。						
評価の方法	①授業態度 ②準備物 ③授業での提出物 ④実技練習 ⑤題材ごとの評価の観点 ⑥学期末考査及び実技試験をもって評価する。学期末考査についてはペーパーテストを実施する。						
学習の展開<年間指導計画の概要>							
	単元または項目		学習のねらい		主な学習活動(教材等)		
一学期	① オリエンテーション(1h) ② 校歌を歌おう(3h) ③ みんなで歌おう(4h)		① 個人の興味関心を調べる。 ② 南風原高生の自覚と愛校心を養う。 ③ 歌う楽しさを感じる。		① 音楽実態調査と授業での約束確認。 ② 南風原高等学校校歌を覚える。 ③ 姿勢、呼吸法、口形など発声の基本を学習する。		
	①(楽典)音符記号について(4h) ② ハーモニーの響き①(8h) ③ ミュージカル(4h)		①音符記号や音の高さなど、基本的な楽譜の記号について理解する。 ②発声、発音に注意しながら、他パートの響きを味わう。 ③ミュージカルの音楽形態や歴史について理解する。		① 楽譜中の記号について理解する。 ② 他のパートをよく聴いて歌う。 ③ 鑑賞を通して音楽形態や歴史を学び、音楽表現とストーリーとの関わりを感得する。		
一学期	① 郷土の音楽 三線①(4h) ② イタリア歌曲に挑戦しよう(4h) ③ (楽典)音楽の記号(4h) ④ ハーモニーの響き②(6h)		①郷土の音楽に親しみながら、三線の奏法について理解する。 ②歌詞や曲想を理解して表現の工夫ができるようにする。 ③楽譜を読むために必要な記号を理解する。 ④言葉について理解を深めながら、他声部との音の重なりを考え表現する。		①三線の基本的な扱いについて学ぶ。 ②外国語の歌詞に慣れ親しんで歌う。 ③基礎的な音楽記号を学習する。 ④詞の内容を考えながら、音楽表現へつなげられるよう工夫する。		
	⑤ 郷土の音楽②(4h) ⑥ ハンドベルの響き(3h) ⑦ 合唱発表会に向けて①(5h)		⑤簡単な曲を演奏できるようにする。 ⑥一人 2-3 音を担当し、グループの協力で1曲完成させる。 ⑦これまで学んだ合唱の成果を出せるよう、全員で協力し、発表会に向けての取り組みを行う。		④ 三線で簡単な曲を弾く。 ⑤ ハンドベル(トーンチャイム)で合奏する。 ⑥ 混成3部で編成されている合唱曲から選曲を行い、表現の工夫を行う。		
	① 卒業の音楽(4h) ② 合唱発表会に向けて②(5h) ③ ワールド・ミュージック(5h) ④ 1年間のまとめ(2h)		①卒業生を祝う気持ちを高める。 ②これまで学んだ合唱の成果を出せるよう、全員で協力し、発表会に向けての取り組みを行う。 ③各地の音楽を感受し、音楽文化の違いを理解する。 ④学習の成果を再確認し、次年度への意欲を高める。		① 卒業式で演奏する歌を練習する。 ② 混成3部で編成されている合唱曲から選曲を行い、表現の工夫を行う。 ③ 各地の音楽を感受し、楽曲の生まれた背景を理解する。 ④ 1年間の学習を振り返る。		

## 音楽Ⅱ シラバス

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅱ	単位数	2	対象	2年
科目の分類	必履修 芸術 (選択 音楽)		履修順序	音楽Ⅰを履修後、音楽Ⅱを履修			
科目の目標	1. 多様な表現活動を通して、演奏技術の伸長や表現意欲の向上を図る。 2. 身近にある音楽やその他の幅広い音楽に親しみ、鑑賞能力を養う。						
教科書 主な教材	・「高校生の音楽2」(教育芸術社) ・「Music Note」(啓隆社)						
学習内容 (概要)	・表現(歌唱、器楽、創作)および鑑賞 (前年度の復習をはじめ、主体的に学習する課題(教材曲)選択も含む)						
学習の ポイント	毎時間 : 既習曲の斉唱・合唱 題材ごと : 実技練習、ワークシート学習、実技テスト						
到達目標	・個人が得意とする表現活動(歌唱・器楽)の力を伸ばし、舞台等で発表できるようにする。 ・生涯にわたって音楽を愛好する心情や態度を育てる。						
評価の方法	①授業態度 ②準備物 ③授業での提出物 ④実技練習 ⑤題材ごとの評価の観点 ⑥学期末考査及び実技試験をもって評価する。学期末考査についてはペーパーテストを実施する。						
学習の展開<年間指導計画の概要>							
	単元または項目		学習のねらい		主な学習活動(教材等)		
一 学 期	①オリエンテーション(1h) ②校歌を歌おう(1h) ③みんなで歌おう(4h)		①個人の興味関心を調べる。 ②南風原高生の自覚と愛校心を養う。 ③仲間と歌う楽しさを味わう。		①音楽実態調査と授業での約束確認。 ②南風原高等学校校歌を歌う。 ③姿勢、呼吸法、口形など発声の基本を学習する。		
	④ギターを演奏しよう(8h) ⑤日本歌曲を歌おう(6h) ⑥楽典 音名とコードネーム(4h)		④クラシックギターの特徴と基本的な奏法を練習し、コードネームを利用した演奏にチャレンジする。 ⑤日本語の美しさを感じながら、美しい重唱の響きをつくる。 ⑥日本・イタリア・ドイツ・英語による音の名前を理解するとともに、読譜力を高める。		④クラシックギターの奏法を身につける。 ⑤曲想や詞の意味を理解し、美しい発声を意識して歌唱しようとしている。 ⑥楽典について積極的に知ろうとしている。		
一 学 期	①歌曲の世界(6h) ②鑑賞 歌舞伎の世界(3h) ③篠笛にチャレンジしよう(4h) ④キーボードで演奏しよう①(6h)		①歌詞や曲想を理解して表現の工夫ができるようにする。 ②歌舞伎についての歴史を理解する。 ③篠笛の歴史や奏法を理解し、演奏することができる。 ④音符、休符、音名を正しく読んで演奏できるようにする。		①外国語の歌詞に慣れ親しんで歌う。 ②歌舞伎について理解する。 ③篠笛の歴史や奏法について学習し、基本的な奏法に気を付けて演奏する。 ④旋律をキーボードを用いて片手で演奏する。		
	⑤ハーモニーを感じよう(8h) ⑥ハンドベルの響き(3h)		⑤合唱の響きを意識し、美しいハーモニーを作る。 ⑥一人2~3音を担当し、グループの協力で1曲を完成させる。		⑤曲想や詞の意味を考え、歌唱する。 ⑥ハンドベル(トーンチャイム)で合奏する。		
	①卒業の音楽(4h) ②合唱発表会に向けて(10h) ③1年間のまとめ(2h)		①卒業生を祝う気持ちを高める。 ②これまで学んだ既習曲を含め、合唱曲を選択し、みんなで協力して美しい声の響きを表現する。 ③生涯にわたって音楽を愛好する心情や態度を育てる。		①卒業式で演奏する歌を練習する。 ②混成3部で編成されている合唱曲を中心に、選曲及び練習に取組み、発表を行う。 ③高校音楽および、これまで(幼小中高)の音楽授業を振り返る。		

# 平成30年度 書道 I シラバス

沖縄県立南風原高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択
書道 I	2	1	選択必修

## 1 科目の概要及び目標

- (1) 小・中学校国語科書写の学習を基礎とし、表現・鑑賞など書道の幅広い活動を通して書を愛好する心情を育てる。
- (2) 書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。

## 2 成績評価

- (1) 学習態度等の平常点（20％）  
各時限の課題への取り組み方、進捗状況を評価する。
- (2) 提出物（40％）
  - ・各時限の課題を意識しながら書くことができているか。
  - ・各時限の課題を理解した上で、各時限の自己評価を自身に付けることができているか。
- (3) 課題達成点（40％）  
各単元のまとめの作品を各時限の過程を踏まえて完成させることができているか。  
上記、(1)、(2)、(3)の状況を踏まえ、総合的に評価する。

## 3 使用教科書

教科書（光村図書 「書道 I」）

## 4 授業の目標及び展開と形態

小・中学校での書写教育から芸術書道へ移行するにあたり、書道の幅広い活動を通して、書を愛する心情を育てる。

書には多くの表現方法がある事を理解することにより、自身の表現の幅を広げることを目的とする。

## 5 学習方法

「漢字」「仮名」の様々な古典を学習する課程で基本的な用筆・運筆方法や鑑賞能力を高める。古典の学習から幅広い表現方法を学び、「漢字仮名交じりの書」にて意図に基づいた作品を制作を行う。

## 6 年間学習指導計画

月	学習内容	時間	月	学習内容	時間
4	筆、用具の使い方 ・書道道具の使い方 ・書写と書道の違いについて 書の変遷について 行書の学習（蘭亭序） ・行書の特徴について	6	10	楷書の創作 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑	8
5	行書の学習（蘭亭序） ・線の太細 ・線の長短 ・線の接筆について ・空間の大きさについて	8	11 12	臨書作品制作（半切） 漢字の創作 ・4文字熟語を好きな書風で創作する	12
6	行書の学習（争坐位文稿） ・線の太細 ・線の長短 ・線の接筆について ・空間の大きさについて	8	1 2	仮名の学習 ・用具用材の使い方 ・運筆方法 ・蓬莱切 高野切第三種	12
7	臨書作品制作（半切）	4	2 3	漢字仮名交じりの書の学習 ・好きな言葉で創作する ・鑑賞会	12
9	楷書の学習 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	8			

# 平成30年度書道Ⅱシラバス

沖縄県立南風原高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択
書道Ⅱ	2	2	選択必修

## 1 科目の概要及び目標

- (1) 表現と鑑賞を有機的に関連させて展開される書道の創造的な書活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性をさらに高めていく。
- (2) (1)の学習を通して、個性豊かな表現能力と書の美しさを感じ取れる鑑賞能力を伸ばしていく。

## 2 成績評価

- (1) 学習態度等の平常点（20％）  
各時限の課題への取り組み方、進捗状況を評価する。
- (2) 提出物（40％）
  - ・各時限の課題を意識しながら書くことができているか。
  - ・各時限の課題を理解した上で、各時限の自己評価を自身に付けることができているか。
- (3) 課題達成点（40％）  
各単元のまとめの作品を各時限の過程を踏まえて完成させることができているか。  
上記、(1)、(2)、(3)の状況を踏まえ、総合的に評価する。

## 3 授業の目標及び展開と形態

- ・書道Ⅱの授業における創造的な活動を通して、更に書を愛好する心情を育てる。
- ・多くの古典や書体に触れることにより、漢字の変遷への理解を更に深め、多くの表現方法から自身のテーマにそった作品を創造することができる。

### 学習方法

- 4 篆刻、刻字をすることにより、篆書・隸書への理解を深め、落款への理解を深める。
  - ・多くの表現方法を学ぶことで感性を高め、自身の中でテーマ設定した創作作品を作る。

## 5 年間学習指導計画

月	学習内容	時間	月	学習内容	時間
4 5	漢字の書 ・漢字の変遷 ・篆書（石鼓文） ・隸書（礼器碑・張遷碑）	10	11 12	漢字の書② ・草書（書譜・忽恵帖）	6
5 6 7	臨書作品制作 篆刻	16	1 2	刻字 ・隸書にて原稿作り ・彫り方の説明（陽刻・陰刻） ・彫る ・着色	8
9 10	創作① ・表現方法の理解 ①紙の中での文字の位置 ②文字の形 ③線の太さ、細さ ④線質の違い ⑤墨の濃淡 ⑥紙の違い印	8	2 3	実用書 履歴書・のし袋の書き方 ・今後の生活で出てくる実用書の書き方を学び生きる力を養う	8
10 11	創作② ・創作テーマの決定・表現方法の選択 ・創作作品の製作・清書・押印 ・創作意図の設定 ・裏打ちの効果、方法説明 ・裏打ち作業 ・創作作品の完成 ・創作作品の発表会	10			

# 平成30年度 実用書道シラバス

沖縄県立南風原高等学校

科目名	単位数	必修・選択
実用書道	2	選択

## 1 科目の概要及び目標

- (1) 表現と鑑賞を有機的に関連させて展開される書道の創造的な書活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性をさらに高めていく。
- (2) (1)の学習を通して、個性豊かな表現能力と書の美しさを感じ取れる鑑賞能力を伸ばしていく。

## 2 成績評価

- (1) 学習態度等の平常点（20％）  
各時限の課題への取り組み方、進捗状況を評価する。
- (2) 提出物（40％）
  - ・各時限の課題を意識しながら書くことができているか。
  - ・各時限の課題を理解した上で、各時限の自己評価を自身に付けることができているか。
- (3) 課題達成点（40％）  
各単元のまとめの作品を各時限の過程を踏まえて完成させることができているか。  
上記、(1)、(2)、(3)の状況を踏まえ、総合的に評価する。

## 4 授業の目標及び展開と形態

- ・実用書道の授業においての創造的な活動を通して、更に書を愛好する心情を育てる。
- ・書くことだけにとらわれない多くの書に関する活動を通して、自身のテーマにそった作品を創造することができる。

## 5 学習方法

- ・多くの表現方法を学ぶことで感性を高め、自身の中でテーマ設定した創作作品を作る。

## 6 年間学習指導計画

月	学習内容	月	学習内容
4	拓本を取ってみよう ・拓本とは ・必要な道具作成 ・拓本取り	9	篆刻 ・游印について ・印面構成について
5	淡墨作品制作 ・淡墨の効果 ・墨色、にじみについて ・作品制作	10 11	漢字仮名交じりの書 ・紙面構成と効果について ・意図に基づく表現
6	漢字の創作 (Tシャツ作り) ・好きな文字を自由に創作しTシャツを作成 ・紙面構成とその効果について	11 12	漢字仮名交じりの書 ・紙面構成と効果について ・意図に基づく表現
7	墨絵 ・紙面構成と効果について ・墨絵の技法	1 2	仮名の学習 ・紙面構成と効果について ・意図に基づく表現

## 美術 I シラバス (平成30年度)

## 沖縄県立南風原高等学校

科目	対象学年	単位数	使用教科書(会社名)								
美術 I	1年 普通科	2	高校生の美術1(日本文教出版)								
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美術を愛好する心情や感性を高め、 創造的な技能と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。										
内容	表現(絵画、彫刻、デザイン、工芸、映像メディア)・鑑賞										
評価の観点											
1、関心・意欲・態度		2、発想や構想の能力		3、創造的な技能							
創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする		感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている		創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している							
4、鑑賞の能力		美術や美術文化を幅広く理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている									
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加状況(制作へ取り組む姿勢、制作の準備・後片付けなども含む)</li> <li>・作品、ワークシート(制作計画や制作の記録、自己評価、鑑賞メモなど)</li> <li>・鑑賞、発表とまとめ。</li> </ul>										
月	予定配当	領域	単元名	学習目標(ねらい)	指導内容	月	予定配当	領域	単元名	学習目標(ねらい)	指導内容
4	2		オリエンテーション	1年間の目標と授業への姿勢を身につける	授業の方針や留意点等確認	9	6	鑑賞	お互いの作品を鑑賞しよう	1学期に制作した課題を元に意見を伝え合い深める	自他の違いに気が付く鑑賞活動
			デッサン(基礎形体) ・ 色彩 平面構成	基礎的な形体をデッサンし、写実的に描く技術を育てる 色彩についての知識を深め、色の配色を意識した構成ができる	用具や技能を学ぶ 着彩、構成の基礎を学ぶ				10	12	彫刻
6	8	平面	生活を彩る文様	表したいものや飾る目的を考えて文様をデザインする	図案から、配置や色を変化させることで様々な文様を生み出す	11	6	映像	アニメーション制作	グループで協力して、短い動画制作をする	動画の知識理解を深める
										12	6
7	10	絵画	想像の世界を形に	読書によって感じたこと、思った事を絵画で表現する	技法などを工夫し、自分の思いを表現する	1	7	工芸	シーサー制作	土の扱いに親しみオリジナルのシーサーを想像しよう	陶土の特性と制作工程について知る
						2			木から生まれる生活用品	木工加工を通し、生活の中で生きる用具を制作する	木の素材の美しさに気づき制作を進める
					3						

科目	対象学年	単位数	使用教科書(会社名)								
美術Ⅱ	2年 普通科	2	高校生の美術2（日本文教出版）								
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美術を愛好する心情や感性を高め、個性豊かに創造的な技能と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。										
内容	表現(絵画、彫刻、デザイン、工芸、映像メディア)・鑑賞										
評価の観点											
1、関心・意欲・態度	2、発想や構想の能力	3、創造的な技能	4、鑑賞の能力								
創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している	美術や美術文化を幅広く理解し、その良さと美しさを創造的に味わっている								
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加状況(制作へ取り組む姿勢、制作の準備から後片付けまで)</li> <li>・作品、ワークシート(計画や制作の記録、自己評価、鑑賞メモなど)</li> <li>・鑑賞、発表とまとめ</li> </ul>										
月	予定 配当	領域	単元名	学習目標(ねらい)	指導内容	月	予 定 配 当	領 域	単元名	学習目標(ねらい)	指導内容
4	2		オリエンテーション	1年間の目標と授業への姿勢を身につける	授業の方針や留意点等確認		4	映像	写真	フィギュアを用い、日頃見慣れている学校の風景に新たな発見をする	タブレットなどの機器で意図した構図の撮影をする
5	4	絵画	スケッチと着彩	鉛筆の濃淡やスケッチの楽しさを味わう	画材を自ら選び、感覚を研ぎ澄まし描く	11					
6	10	絵画	キャンバスに思いを	キャンバスを用い、色彩豊かに風景を描く 油絵の具の扱いを学び豊かに表現する	用具の使用手法とテーマを持ち風景画の描き方を工夫する	14		デザイン	生活を彩る文様 包装紙 バック 制作	表したいものや飾る目的を考えて文様をデザインする	配置や色を変化させることで様々な文様を生み出す
	2	鑑賞	新たな映像表現	映像の特性を理解し、可能性を考える	演出の理解と新たな表現への興味関心	12	4	鑑賞	美術館の展示を企画しよう	テーマを決め、自分の作品展を企画し発表する	美術館や作品の展示に興味を持つ
7	6		島ぞうりデザイン	日用品の中で生きるデザインを考え制作する	用具の扱いとオリジナルデザインの考案	1				1年生のときの土の扱いを振り返り、実用品として使う事ができる平皿を制作する	2学期の文様の課題をヒントに、白土を削り文様を出す
9 10	1 0	彫刻	自分の守り神をつくらう	自分のお気に入りのものに魂が宿るという想像から、架空の生物のフィギュアを制作する	想像力を働かせ、考えたことを彫刻に表す	2 3	14	工芸	平皿		